

2024年(令和6年) 3月25日 月曜日 (2)

宇宙産業への参入促す

技術経営士会の
東海支部 企業向けセミナー

【岐阜】技術経営士の会
東海支部(名古屋市西区、
新美篤志支部長)は15日、
名古屋市内で、宇宙産業へ
の参入に興味のある中部企
業向けセミナー「宇宙への
扉を開く」を開催した。オ
ンラインを含め約150人
が参加した。

講師は北海道大樹町のロ
ケット発射場「北海道ス
ペースポート(HOSPO)」
の運営を手掛けるSPAC
E COTAN(本社北海



HOSPOの取り組みなどを
語る小田切氏

道)CEOの小田切義憲氏。
小田切氏は、宇宙産業の
市場規模が2040年に1
20兆円に達する試算を紹
介した上で「今後、自国が

打ち上げができる体制は
重要」と強調し、HOSP
Oの取り組み状況などを語
った。

同セミナーは、同支部が
進めるロケット打ち上げに
必要な部品調達をサポート
する中部企業のモノづくり
ネットワーク構築のキック
オフイベント。今後はH
OSPOを見
学するツア
ーなどを検討し
ている。

新美支部長
は「宇宙産業
といってもロ

ケット部品だけでなく、発
射場の鉄骨など幅広い。産
業として確立されれば、ホ
テルや住宅建設など周辺に
さまざまなチャンスが生ま
れる」と話した。